

平成24年台風4号洪水における吉野川本川(早明浦ダム)の洪水調節効果について

台風4号により6月18日17時から6月19日18時までの流域平均総雨量は、早明浦ダム上流域で205mmを記録しました。

この降雨による洪水に対し、早明浦ダムでは洪水調節を行い、下流の被害軽減に努めました。

- 吉野川本川において以下の洪水調節を行い下流の洪水による被害を軽減しました。

ダム名	早明浦ダム
最大流入量	842m ³ /s
最大流入時放流量	0m ³ /s
最大流入時調節量	842m ³ /s

※貯水位が低いため、流入水のほぼ全量を貯留しました。

もしダムがなかった場合には、早明浦ダム下流の本山橋(本山町)地点で2.17m水位が上昇していたと想定されます。

また、今回の洪水調節により、早明浦ダムにおいてこの時期に必要な利水容量に対する貯水率は、6月20日12時現在で100%となっています。(第一次取水制限は6月19日(火)14時に解除されました。)

平成24年 6月20日

国土交通省 吉野川ダム統合管理事務所
独立行政法人 水資源機構 池田総合管理所

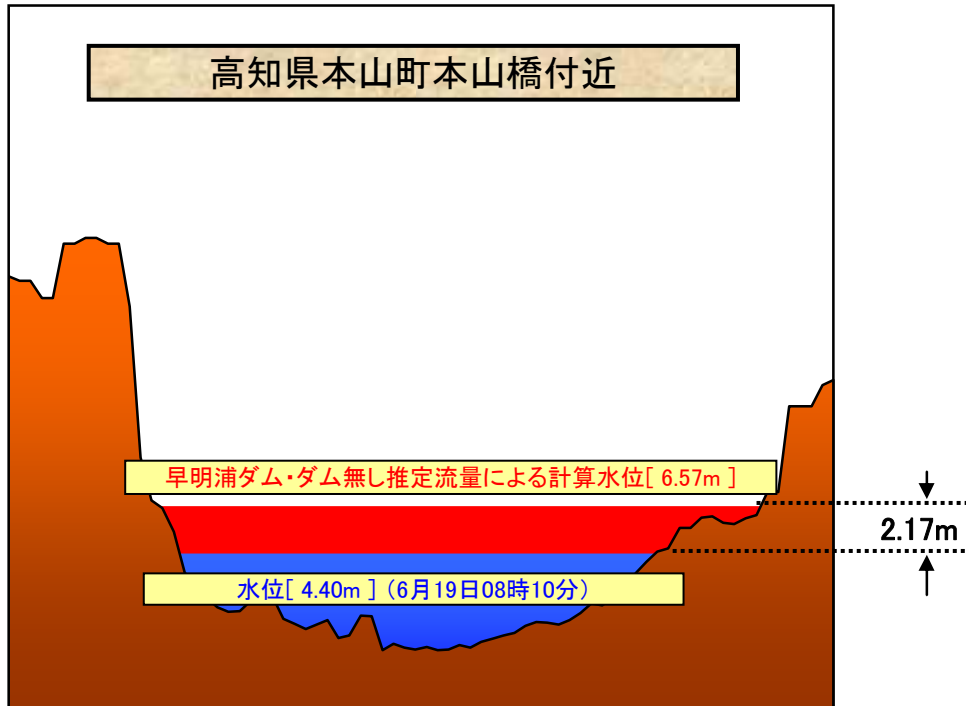
お問い合わせ先

国土交通省 吉野川ダム統合管理事務所
管理課長 笠井 博之 (内線331)
(TEL) 0883-72-3000
独立行政法人 水資源機構 池田総合管理所
第一管理課長 中園 孝介 (内線331)
(TEL) 0883-72-2050

ダム最大流入時の洪水調節効果

■本山橋付近（高知県本山町）

※川幅約150mの河川に対し約2.17mの水位低減が図れた。



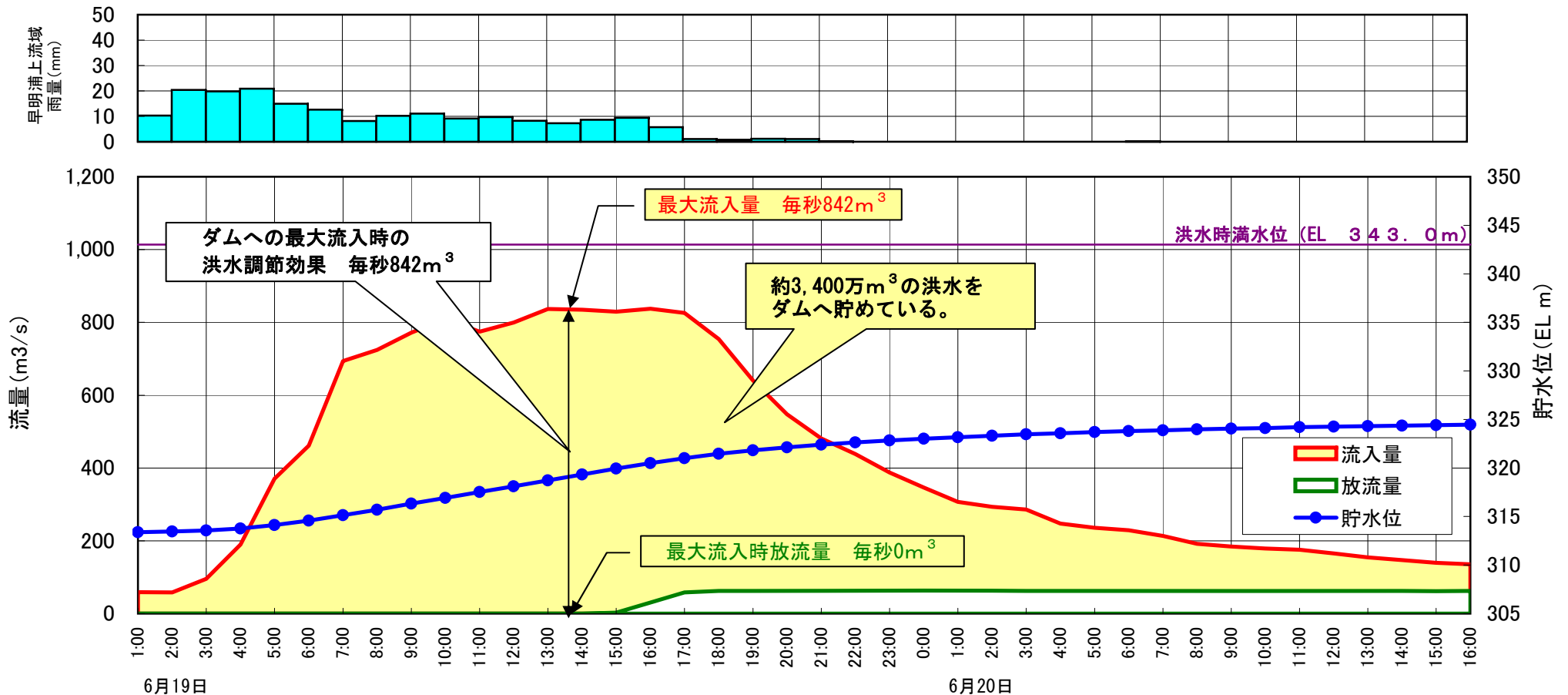
・吉野川 早明浦ダム（高知県）

吉野川水系吉野川においては、早明浦ダムで $842\text{ m}^3/\text{s}$
 （最大流入量 $842\text{ m}^3/\text{s}$ →放流量 $0\text{ m}^3/\text{s}$ ）
 を調節しており約 $3,400\text{ 万m}^3$ の洪水を貯留し、下流の水位低減（本山橋地点で
 2.17 m ）に寄与した。

早明浦ダム諸元（非洪水期）

総貯水容量： $31,600\text{ 万m}^3$

洪水調節容量： $8,000\text{ 万m}^3$



※当該資料については、記者発表後のダム運用状況を反映したものに修正しています。